

教科	外国語				
科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3 単位	履修年次	1 年次
使用教科書	COMET English Communication Ⅰ (数研出版)				
副教材等	COMET English Communication ベーシックノート, クラウンチャンクで英単語Basic(三省堂)				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	<p>卒業までにこのような資質・能力を育成する。</p> <p>①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。</p> <p>②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。</p> <p>③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。</p> <p>④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。</p>
カリキュラムポリシー	<p>資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。</p> <p>①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。</p> <p>②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。</p> <p>③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。(年3回以上はクラス単位での授業を行う)</p> <p>④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。</p>

2 学習の目標

<p>基本的な語句の意味と文法を理解して平易な英文の概要を把握し、質問に答える能力と、自分の意見を英語で書き、話そうとする態度を養う。</p>

3 指導の重点

中学校までの学習内容を丁寧に復習し、高校英語での言語活動への円滑な橋渡し・基礎固めを行う。以下の観点をつまみ、指導する。

- ①英語を表現、理解する基礎となる文法事項と語彙の習得
- ②英語で自分を表現し、かつ他者の英語を理解する言語活動

4 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	Get Ready ①～④	教科書 ワークブック 授業のワーク シート 単語帳等	be動詞・一般動詞	60	取組状況 パフォーマンステスト 提出物 定期考査 単語テスト
	Lesson 1		過去形		
	Lesson 2		進行形		
	Activity 1		音読活動		
	Lesson 3		助動詞		
	Lesson 4		不定詞		
	Lesson 5		動名詞		
	Activity 2		書く活動・話す活動		
Lesson 6	that節				
後期	Lesson 7	教科書 ワークブック 授業のワーク シート 単語帳等	現在完了形	45	取組状況 課題 提出物 定期考査 単語テスト
	Lesson 8		受け身		
	Activity 3		聞く活動・話す活動		
	Lesson 9		比較		
	Lesson 10		関係代名詞		
	Activity 4		聞く活動・書く活動		
計				105	(50分授業)

5 課題・提出物等

授業内ワークシート、課題、パフォーマンステスト

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語句の音声や意味、表現、文法、言語の働きなどの理解し、適切な文脈や、状況などに応じて適切に使用できる技能を身につけている。	タイトルや写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて相手に伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	本文中の語句や重要な表現を用いて、自分の考えを述べたり、発表したりするために、主体的・自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【評価】</p> <p>考査・提出物の内容・授業中の発言の「知識・技能」分野が十分に満足できる状況と判断できる・・・A</p> <p>おおむね満足できる状況と判断できる・・・B</p> <p>努力を要する状況と判断できる・・・C</p>	<p>【評価】</p> <p>考査・提出物の内容・授業中の発言の「思考・判断・表現」分野が十分に満足できる状況と判断できる・・・A</p> <p>おおむね満足できる状況と判断できる・・・B</p> <p>努力を要する状況と判断できる・・・C</p>	<p>【評価】</p> <p>提出物や振り返りシート、発表の内容が十分に満足できる状況と判断できる・・・A</p> <p>おおむね満足できる状況と判断できる・・・B</p> <p>努力を要する状況と判断できる・・・C</p>

8 担当者からの一言

中学校での既習内容からていねいに英語を学び直します。英語が苦手な生徒が取り組みやすいよう授業を計画しますが、教科の特質上、ペアワークやグループワーク、発表活動等を行いますので、誰とでも活動する意欲とどんな意見でも尊重する態度をもって受講して下さい。